

# 第47回 超音波エレクトロニクス の基礎と応用に関するシンポジウム

期間：2026年11月11日(水)～13日(金)

会場：北九州国際会議場（福岡県北九州市）

主催：  
超音波エレクトロニクス協会USEシンポジウム運営委員会

後援（依頼中含）：  
応用物理学会/IEEE UFFC All Japan Joint Chapter/電子情報通信学会

協賛（依頼中含）：  
映像情報メディア学会/海洋音響学会/精密工学会/弾性波素子技術コン  
ソーシアム/超音波工業会/電気学会/日本音響学会/日本化学会/日本機  
械学会/日本金属学会/日本生体医工学会/日本ソノケミストリー学会/日本  
超音波医学会/日本非破壊検査協会/日本物理学会/日本分光学会/日本  
分析化学会/日本分析機器工業会/非線形音響研究会

USEウェブサイトから「超音波用語事典（電子版）」が自由に閲覧できます。



## ■シンポジウム開催期間：11月11日(水)～11月13日(金)

- 講演申込締切： 7月8日(水) 24:00JST
- 論文集原稿(A4x2頁)締切： 8月7日(金) 24:00JST
- 講演者参加申込・支払締切\*：10月2日(金)

- 参加費事前割引支払締切：10月26日(月)
- JJAP論文特集号原稿締切：11月30日(月) 24:00JST

\*講演者のお支払いは論文の採択結果が通知されてから行って下さい

## ごあいさつ

USE2026 運営委員長 三浦 光（日本大学）

本超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウムは、「超音波関連分野の基礎から応用に携わる研究者が一堂に会し、発表と討論を通じて互いの成果を共有し、学術の進展に寄与すること」を目的として1980年12月に第1回が開催されました。以来、この基本理念を堅持しながら毎年開催され、今年は第47回を迎えます。本シンポジウムで得られた多くの学術的成果は、英語講演論文集としてWeb公開しております。更に、regular paper または brief note として投稿・採択された学術論文は、応用物理学会英文誌：Japanese Journal of Applied Physics (JJAP) のUltrasonic

Electronics 特集号として毎年収録され、世界的にも高い評価を受けています。また、この学术交流の場を、国内外を問わず、より多くの研究者・技術者に提供するために、英文講演論文集の発行、英語口頭セッションを実施しています。現在では、韓国、台湾、中国、欧米などからの参加者は10%以上を占め、アジアにおける超音波研究発表の場を代表する会議です。

今年は、北九州国際会議場（福岡県北九州市）にて2026年11月11日(水)～13日(金)に開催いたします。これまで以上に多くの皆様に御参加いただき、共に有意義な時間を過ごすことができることを祈念しております。

## ■超音波シンポジウム論文賞

本シンポジウムで発表し、さらに、Japanese Journal of Applied Physicsに論文として公表された超音波に関する研究成果であって、科学と技術の発展に顕著な貢献が期待されるものを選定し、超音波シンポジウム論文賞 (Symposium on Ultrasonic Electronics: Best Paper Award) を贈呈します。

## ■超音波シンポジウム奨励賞

本シンポジウムにおいて優れた口頭発表またはポスター発表を行った第一著者かつ登壇者（ポスターの場合は発表者）で、シンポジウム開催翌年（今回は2027年）の4月1日で満37歳以下の方を対象として、超音波シンポジウム奨励賞 (Symposium on Ultrasonic Electronics: Young Scientist Award) を贈呈します。意欲ある優秀な研究者は講演申込時に申請してください。

※両賞とも授賞式は次年度のシンポジウムで行ないます。

## シンポジウム会場

### 北九州国際会議場

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野三丁目 9-30  
<https://hello-kitakyushu.or.jp/kokusai-kaigi/>

- 北九州空港からJR小倉駅まで高速バスで約35分
- 福岡空港からJR小倉駅まで地下鉄と新幹線で約26分
- JR博多駅からJR小倉駅まで新幹線で約16分
- JR小倉駅から会場まで徒歩で約5分



## ●論文募集分野

1. 超音波物性,材料,フォノン物理,光超音波エレクトロニクス
2. 測定技術,映像法,非破壊評価
3. 圧電デバイス(バルク波デバイス,弾性表面波デバイス)
4. 非線形,強力超音波,ソノケミストリー
5. 生体医用超音波
6. 海洋音響

## ●JJAP特集号論文投稿について

(Web投稿先は講演採択者にお知らせします。)

論文委員長 荒川 元孝 (東北大学)

**【論文関係問合せ先】** program@use-jp.org

センキョウ (投稿Webサイト技術サポート)

Tel: 022-236-7161 Fax: 022-236-7163

■講演申込(7月8日(水)24:00JSTまで) USEウェブサイトから申し込んで下さい。この申し込みデータは論文委員会において採否決定に使われます。皆様の積極的な参加をお待ちしています。また、超音波シンポジウム奨励賞の申請者は講演申込とともに申請登録を忘れずに行って下さい。

■講演論文集の原稿(8月7日(金)24:00JSTまで) 文字化けを防ぐためdoc, pdf形式の両方をウェブサイトからご提出下さい。執筆要綱,テンプレートもウェブサイトをご参照下さい。過去の講演論文集はUSEウェブサイトから閲覧することができます。講演論文は,J-Stageおよびシンポジウム終了半年後ごろにウェブサイトに公開します。このことに支障のある方は,原稿提出時にお申し出下さい。

■講演採択の決定 論文委員会で審査を行い,採否と発表形式(口頭・ポスター)を決定します。採択通知は9月中旬ごろに電子メールで講演申込者に配信予定です。

■講演者の参加申込・支払および講演登録料支払(10月2日(金)まで) 講演原稿が採択された講演者は,必ず期限までに参加申込を済ませ,参加費および講演登録料(1件5,000円)をお支払い下さい。お支払いの際は講演者名義で発表1件ごとにお支払い下さい。

■JJAP特集号論文の原稿(11月30日(月)24:00JSTまで) 講演が採択され,USEにて発表した方はJJAP(Japanese Journal of Applied Physics)特集号に原著論文を投稿することができます。通常号と同様の査読プロセスにより採否を決定します。投稿はWebで行いますが,投稿先URL,投稿要領はシンポジウム講演の採択通知後にお知らせします。

JJAP論文のIOP移行に伴い,投稿・審査・出版手続き等が変更されております。詳細はウェブサイトでご確認ください。

## 参加申込

参加される方はUSEウェブサイト上でアカウントを取得し,作成されたマイページ上からお申し込み下さい。参加費は下記のとおりです。講演登録料,懇親会費も支払えます。支払いはクレジットカードのみとさせていただきます。クレジットカードでの支払が難しい場合は,参加登録手続き前にfee@use-jp.orgへご相談ください。

なお,シンポジウム当日のお申込み・支払いはお受けできません。事前にマイページから指定の期日までに参加申込み・支払いを済ませいただき,ご参加ください。また,10月26日(月)までに参加費を送金される場合は割引価格が適用されますので,早めの申し込み,お支払いをお勧めします。

●懇親会 日時:11月12日(木)18:00(予定) 会費:一般7,000円 学生4,000円  
会場:JR九州ステーションホテル小倉 retired 6,000円

■参加費 10月26日(月)まで:18,000円(一般) 3,000円(学生) 3,000円(retired\*)  
10月27日(火)~11月6日(金) 正午:23,000円(一般) 6,000円(学生) 6,000円(retired\*) \*retired 大学,企業等を退職されて所属の無い方

講演者につきましては,10月2日(金)までに参加費・講演登録料のお支払いがない場合は,講演を取り消させていただきます。

## ■総合問合せ先

実行委員長 梶田 晃司 (東京農工大学)  
steering@use-jp.org

■運営委員会  
委員長:三浦光(日大)

■運営委員会幹事会  
代表:中村健太郎(Science Tokyo) 副代表:松川真美(同志社大),近藤淳(静岡大)  
委員:青柳学(室蘭工大),荒川元孝(東北大),大隅歩(日大),荻博次(大阪大),黒澤実(つばめ音研),小池義和(芝浦工大),小山大介(同志社大),酒井啓司(東大),野村英之(電通大),則末智久(京都工繊大),橋本研也(電子科大),長谷川英之(富山大),梶田晃司(農工大),三原毅(島根大),森田剛(東大),山本健(関西大),渡部泰明(都立大)  
監事:柳引淳一(東北大),渡辺好章(同志社大)

■実行委員会  
委員長:梶田晃司(農工大) 副委員長:小池義和(芝浦工大)  
委員:荒川元孝(東北大),荻博次(大阪大),野村英之(電通大),則末智久(京都工繊大),長谷川英之(富山大),松川真美(同志社大),三原毅(島根大),森田剛(東大)

■論文委員会  
委員長:荒川元孝(東北大) 副委員長:則末智久(京都工繊大)  
委員:大川浩一(秋田大),大隅歩(日大),大橋雄二(秋田県立大),荻博次(大阪大),小原良和(東北大),垣尾省司(山梨大),工藤すばる(石巻専修大),小池義和(芝浦工大),小林牧子(熊本大),小山大介(同志社大),近藤淳(静岡大),西條芳文(東北大),田中秀治(東北大),土屋健伸(神奈川大),鶴田健二(岡山),出口充康(海洋研究開発機構),中村健太郎(Science Tokyo),新田尚隆(産総研),野村英之(電通大),橋本研也(電子科大),長谷川英之(富山大),林高弘(大阪大),原田明(九州大),平野太一(明治大),梶田晃司(農工大),松川真美(同志社大),森和義(防衛大),森田剛(東大),安井久一(産総研),柳谷隆彦(早稲田大),山川誠(芝浦工大),山口匡(千葉大),山本健(関西大),吉澤晋(東北大),吉田憲司(千葉大),若槻尚斗(筑波大)

■運営委員会委員  
會澤康治(金沢工大),赤尾慎吾(ボールウェア),浅田隆昭(浅田技術士事務所),浅見拓哉(日大),足立寛太(大阪大),李香福(日女大),生嶋健司(農工大),石井孝明(山梨大),

石井 琢郎(東北大),伊藤一陽(農工大),井原 郁夫(長岡技科大),岩瀬 良一(海洋研究開発機構),上田 政則(太陽誘電モバイルテクノロジー),内田 武吉(産総研),海老原 格(筑波大),遠藤 信行(神奈川大),大久保 寛(都立大),大塚 翔(千葉大),大村 眞朗(富山大),大森 達也(千葉大),小笠原 英子(防衛大),興津 健二(大阪公立大),沖村 康之(日本特殊陶業),笠島 崇(日本特殊陶業),神山 直久(GEヘルスケア・ジャパン),神田 岳文(岡山大),菊池 年晃(防衛大),工藤 信樹(北海道大),倉科 佑太(農工大),黒山 喬允(防衛大),黄 啓新(神奈川工大),江田 廉(群馬大),小塚 晃透(愛知工大),後藤 令(スカイワークスフィルターソリューションズ),小林 和人(本多電子),齋藤 敦史(芝浦工大),齊藤 晋聖(北海道大),齊藤 史郎(東芝),坂本 眞一(滋賀県立大),佐藤 隆幸(都立大),志村 拓也(海洋研究開発機構),沈 青(電通大),神 雅彦(日本工大),末利 良一(古野電気),杉本 恒美(桐蔭横浜大),鈴木 雅視(山梨大),善甫 啓一(筑波大),副島 潤一郎(カイジョー),高崎 正也(埼玉大),高嶋 昭一(沖電気工業),高柳 真司(同志社大),高橋 弘文(富士セラミックス),田川 憲男(都立大),瀧 宏文(マリ),竹内 真一(東京都市大),田邊 将之(熊本大),田原 麻梨江(Science Tokyo),田村 和輝(横浜国大),田村 英樹(東北工大),千葉 裕介(産総研),辻 俊宏(島根大),辻本 敏行(堀場製作所),土屋 隆生(同志社大),土屋 利雄(海洋大),土信田 豊(足利大),友田 基信(大分大),長岡 亮(富山大),中川 誠司(千葉大),長久保 白(東北大),中島 吉太郎(大阪大),中曾 教尊(凸版印刷),永田 肇(東京理科大),長谷 芳樹(ビクシーダストテクノロジー),中村 暢伴(大阪大),浪田 健(芝浦工大),野毛 悟(沼津高専),畑中 信一(宇都宮大),平田 慎之介(千葉大),飛龍 志津子(同志社大),福山 敦彦(宮崎大),藤井 知(物質・材料研究機構),藤原 夏実(大阪大),細川 篤(明石高専),細田 真妃子(電機大),増山 裕之(鳥羽高専),松田 理(北海道大),水野 勝紀(東大),水野 隆(コニカミノルタ),美谷 周二朗(東大),宮崎 尚(防衛大),宮地 幸哉(富士フイルム),宮本 隆典(東京海洋大),村越 裕之(日本電波工業),森 翔平(東北大),森 直樹(大阪大),安田 啓司(名古屋大),山田 顕(東北学院大),山本 満(日本電気),吉岡 正裕(産総研),和田 有司(成蹊大),和高 修三(アミック),渡邊 佳孝(海洋研究開発機構),J. Kim (Tongmyong Univ.), M. Kim (Pukyong National Univ.), Y. Ono (Carleton Univ.), K.-C. Park (Pukyong National Univ.), Y. Son (Kumoh National Inst. of Tech.), O. B. Wright (The Univ. of Osaka)

■顧問  
伊藤 洋一,黒澤 実,蜂屋 弘之,三原 毅

(依頼中)